

福島県の温泉の概況

【概況】

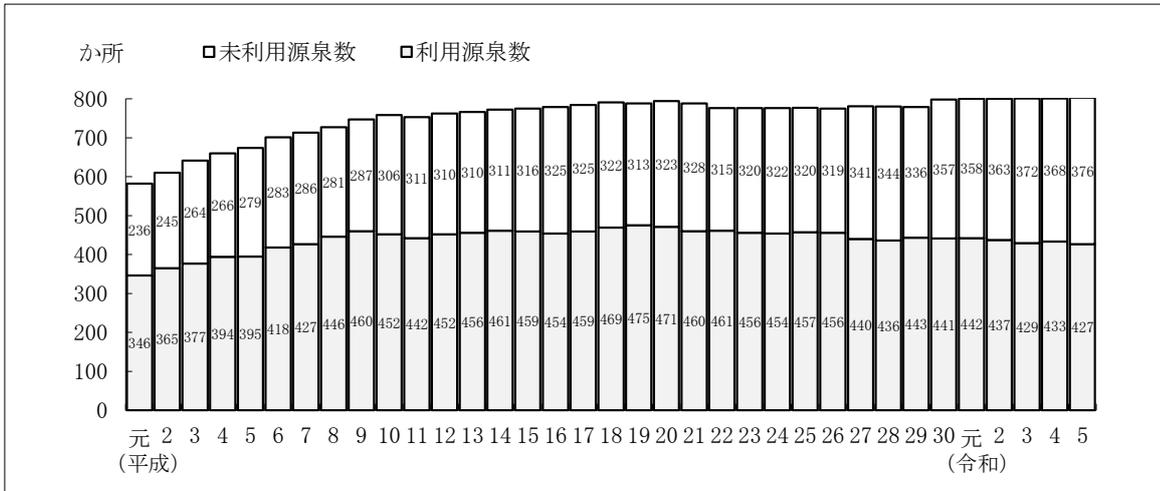
本県は、山・海・湖・川といった豊かな自然とともに、多くの温泉を有する全国有数の温泉県である。

県内には、803か所に源泉があり、そのゆう出量は、毎分約77,042Lとなっている。それらの源泉の所在地は、59市町村中53市町村（令和6年3月末現在）に点在し、ほぼ県内全域に分布している。それぞれの源泉の泉質も地域によって様々であり、強酸性から強アルカリ性、成分も単純泉から硫黄泉、放射能泉まで実に多種多様である。また、「岳温泉」、「新甲子温泉」、「土湯・高湯温泉郷」、「二岐・岩瀬湯本・天栄温泉」の4ヶ所が国民保養温泉地に指定されている。

宿泊利用者については、平成23年度東日本大震災、令和2年度新型コロナウイルスの影響で大幅な減少となったが、その後回復傾向が見られる。

【温泉数の推移】

平成元年より源泉総数は増加傾向にあったが、ここ数年は横ばい状態であり、源泉総数に占める未利用源泉数も横ばい状態で推移している。



源泉数 803か所

(令和6年3月末現在)

利用源泉	427 (53.2%)	未利用源泉	376 (46.8%)
自噴	138 (17.2%)	自噴	133 (16.6%)
動力装置	289 (36.0%)	動力装置	243 (30.2%)

温度別源泉数 (温度測定可能な源泉のみ) 516源泉

(令和6年3月末現在)

42℃以上	238 (46.1%)	25℃以上42℃未満	147 (28.5%)	25℃未満	97 (18.8%)	ガス・水蒸気	34 (6.6%)
-------	-------------	------------	-------------	-------	------------	--------	-----------